

# 会 長 講 演

「次代を育てる家族看護」

会長 前原 澄子

## 「次代を育てる家族看護」

三重県立看護大学 前原 澄子

家族は、ある特定の目的をもって作られる集団ではないが、実際は人間が生活していく上で、さまざまな機能を果たしている集団である。特に、次代を育てるという観点から見ると、次のような機能が考えられる。

生殖機能—一人の親になりたい、子どもを持ちたいというニーズを満たし、種族保存の機能を果たす出産は、一般的に家族の中で行われる。

性的機能—異性間の性的関係は、家族成員である夫婦の関係において認められ、社会の性的秩序を維持している。

教育機能—子どもの成長過程において、健康な心身を作るための習慣・知識・社会生活のための規範や道徳を教育される第一歩は家族であり、次代の教育を行う機能がある。

経済機能—家族成員により収入を得て、家族の生活の基盤や次代育成のための機能を果たすことができる。

休息機能—社会生活によって起こる緊張をほぐし、精神的安定を得ることができる。

保護機能—病気・妊娠・出産の家族員を保護し、サポートをしていく。

以上のような家族機能が、次代の育成の上で家族に課せられた課題となるが、家族のあり方は、それぞれの家族周期によっても異なるし、その次代の社会事情の反映による家族のあり方によっても異なってくる。

家族周期から見ると、まだ子どものいない段階・いわゆる子育ての段階・子どもが巣立ちをする段階で、次代育成に果たす家族機能は異なる。

また近年の社会的特徴である、核家族・働く女性・離婚の増加の現象は、家族機能にも大きな変化をもたらし、次代育成に影響を与えている。

これらの現象を家族看護の立場から、これまでに得られたデータに基づき考察し、次代育成に果たす家族看護の役割を考えたい。